

2022年3月期 第1四半期 決算説明会資料

2021年8月18日



証券コード：4461（東証1部）
第一工業製薬株式会社

本日のアジェンダ



- 1. 2022年3月期 第1四半期 連結決算のご説明 P. 3**
- 2. 2022年3月期 業績見込みについて P.14**
- 3. FELIZ 115の進捗状況について P.18**

1. 2022年3月期 第1四半期 連結決算のご説明

連結 業績の概要（前期比較）



増収増益：自動車関連分野の需要回復、電子デバイスセグメントの伸長

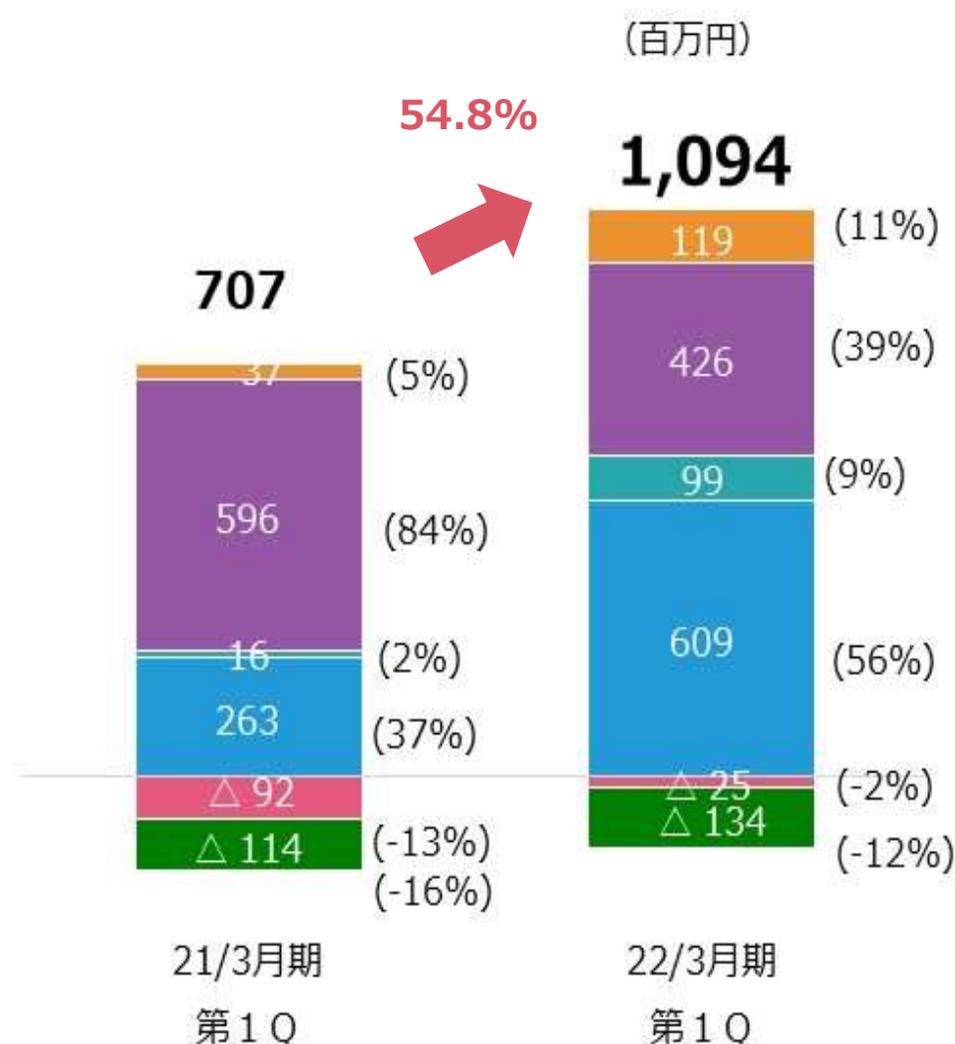
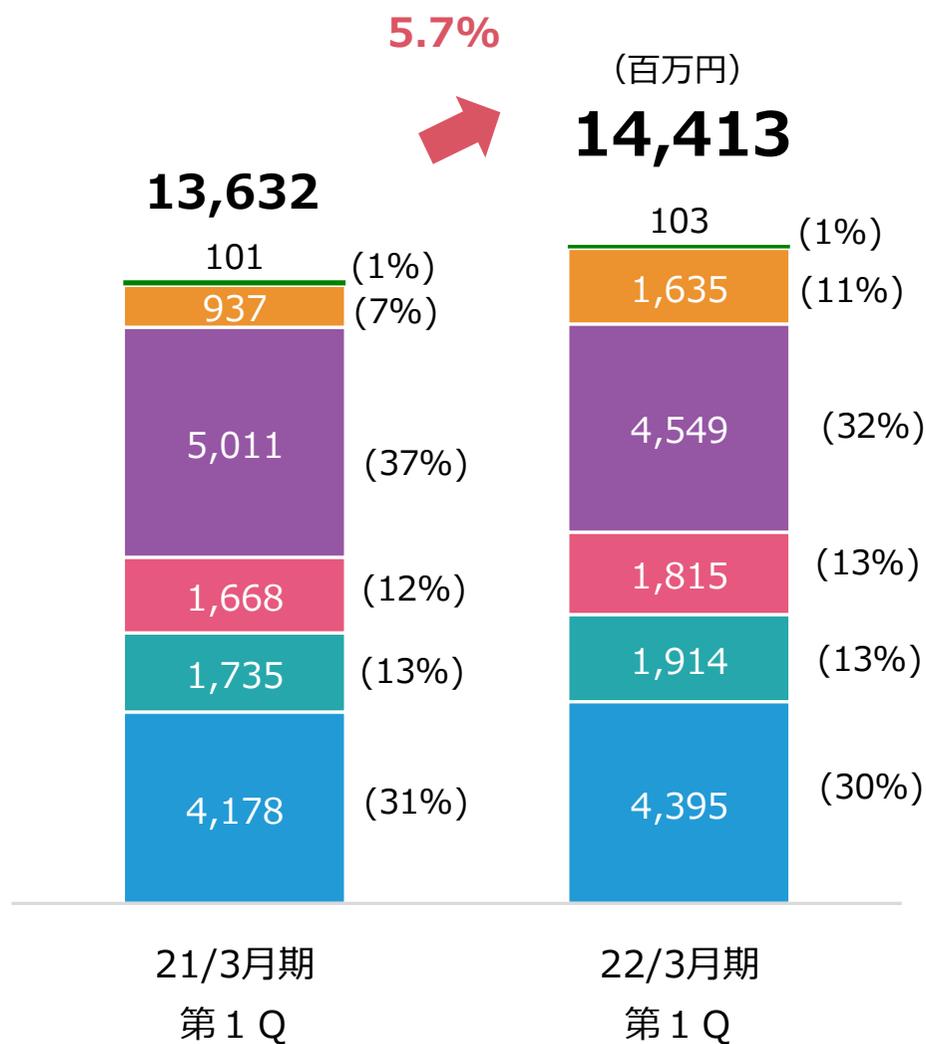
(単位：百万円)

	21/3月期 第1Q累計	22/3月期 第1Q累計	前期比増減		要因
			金額	増減率	
 売上高 増収	13,632	14,413	781	5.7%	採算是正により収益率上昇 自動車関連分野の需要回復
 営業利益 増益	707	1,094	387	54.8%	営業努力による価格是正 営業経費の増加は最小限
 経常利益	624	903	279	44.8%	
親会社株主に  帰属する 当期純利益	340	490	149	43.9%	

売上高

営業利益

() : 構成比



■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

2022年3月期1Q 営業利益増減分析

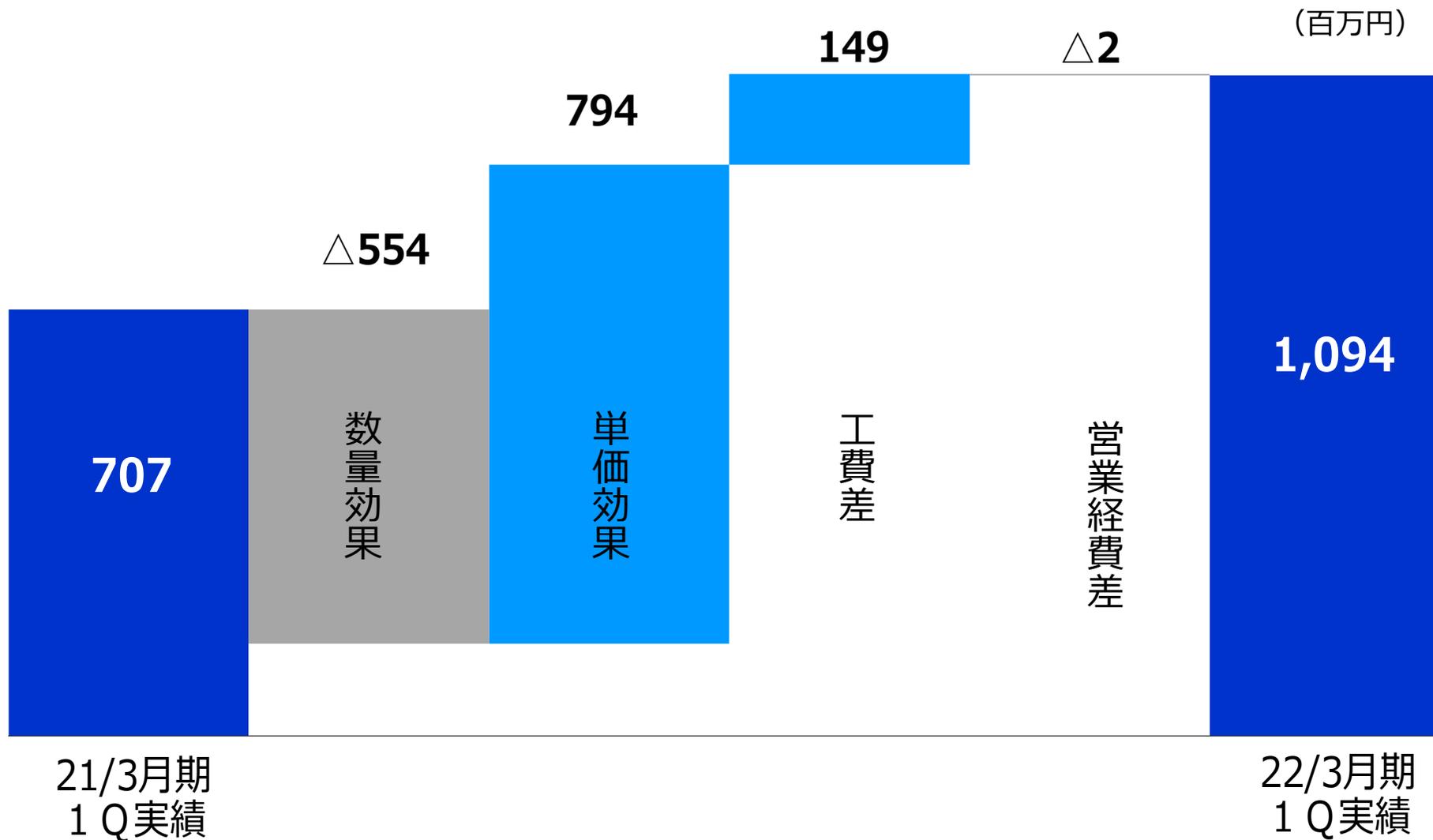


* 販売数量減など

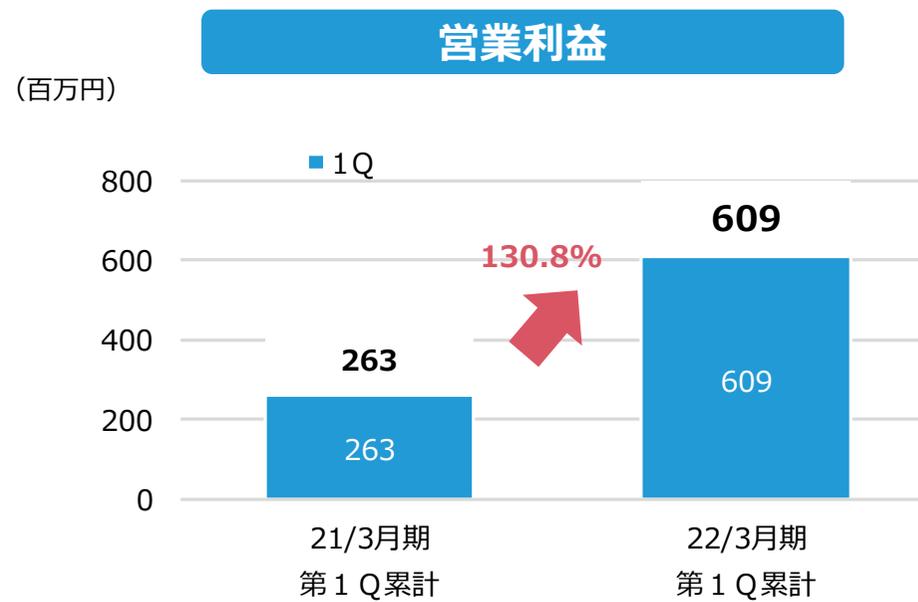
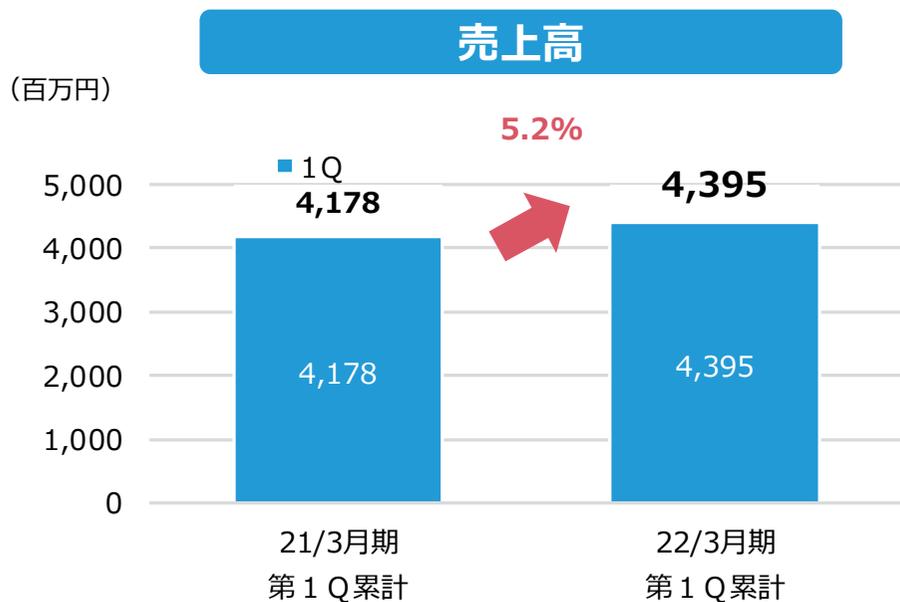
* 採算是正など

* 工費削減など

(百万円)



1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。



売上高：総じて堅調に推移

- 石けん・洗剤用途、IT・電子用途は堅調に推移
- ゴム・プラスチック用途は低調に推移

営業利益：増益

- 販売価格の是正
- 営業経費の削減

IT・電子材料用途

堅調に推移



石けん・洗剤用途

堅調に推移

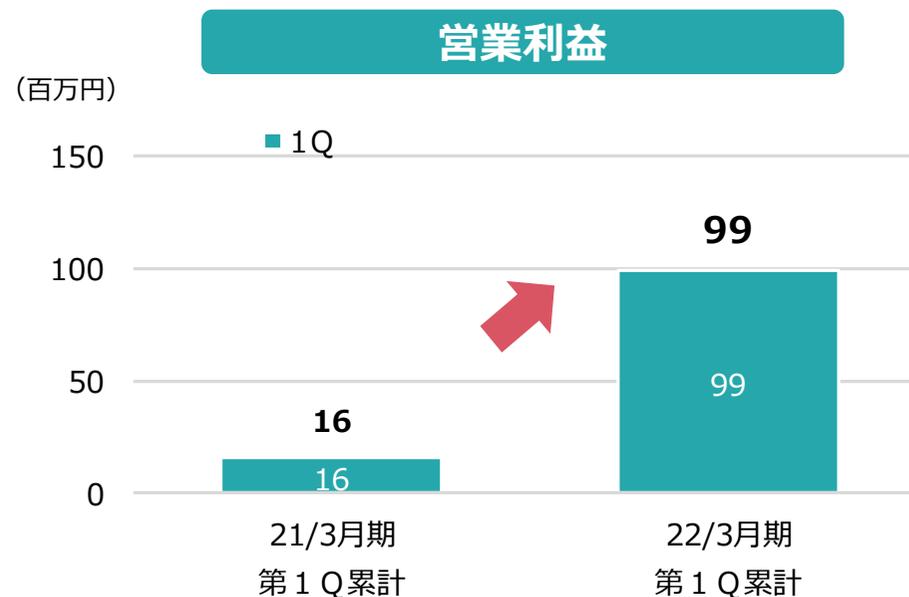
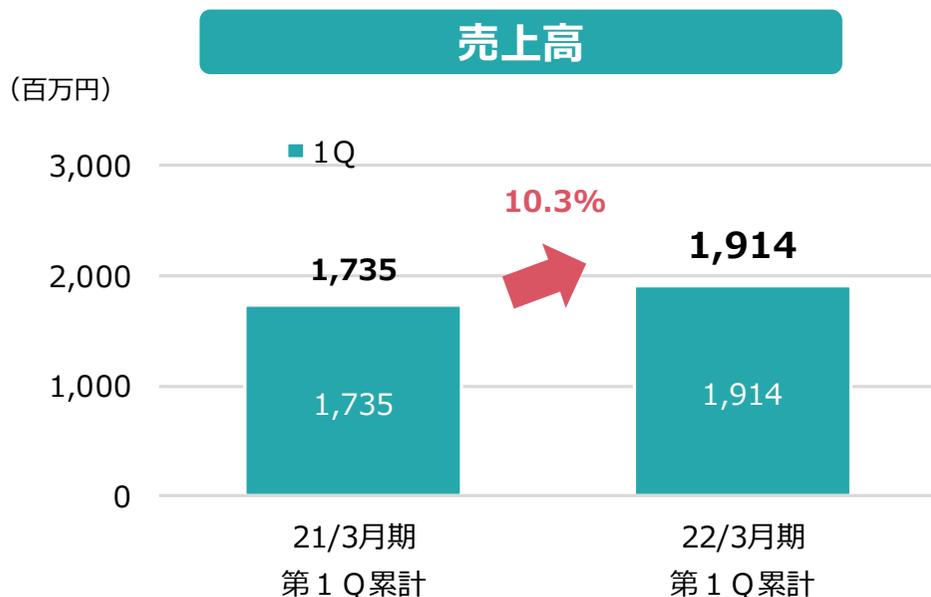


塗料・色材

堅調に推移



生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。



売上高：総じて大幅に伸長

- ショ糖脂肪酸エステルは、国内は食品用途が堅調、海外は化粧品・食品用途が低調
- ケロース系高分子材料はエネルギー・環境用途が堅調に推移

営業利益：増益

- 売上高の伸長
- 営業経費の削減

化粧品用途

低調に推移



食品用途

低調に推移



エネルギー用途

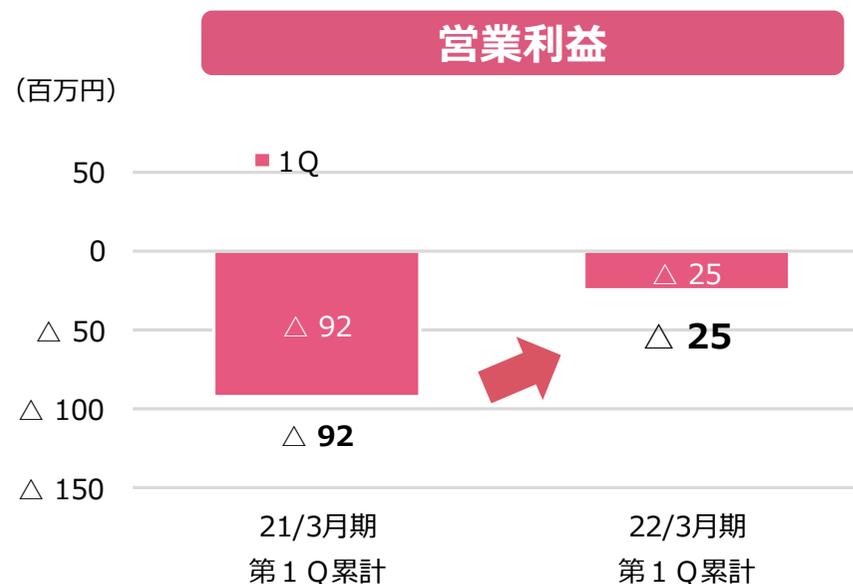
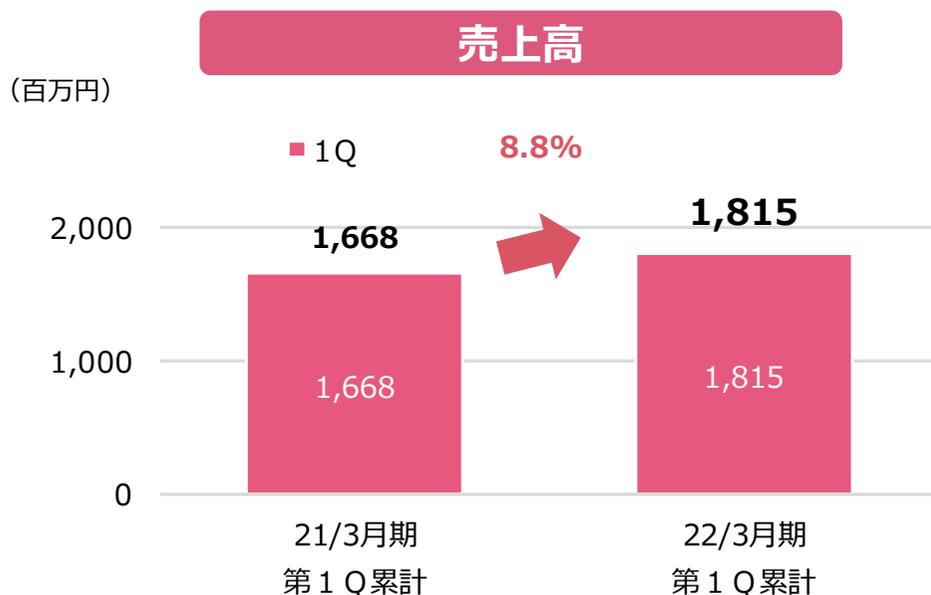
堅調に推移



連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



売上高：総じて大幅に伸長

- IT・電子材料用途は堅調に推移
- 土木用薬剤は低調に推移
- 自動車関連分野の回復により、合成潤滑油は大幅に伸長

営業利益：営業損失

- 売上高は伸長するも、新規製品や新規用途の開発遅れ

IT・電子材料用途

堅調に
推移



土木用薬剤:岩盤固結

低調に
推移

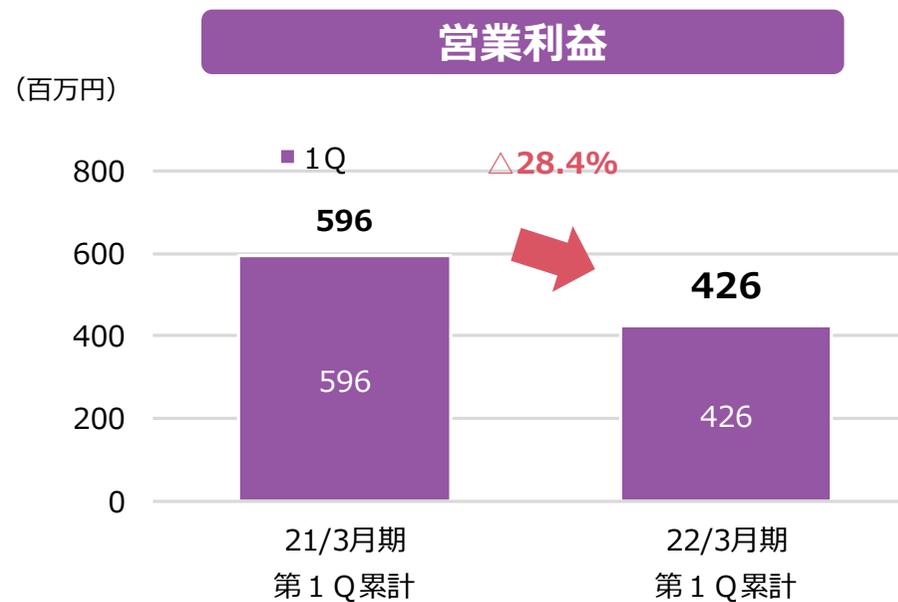
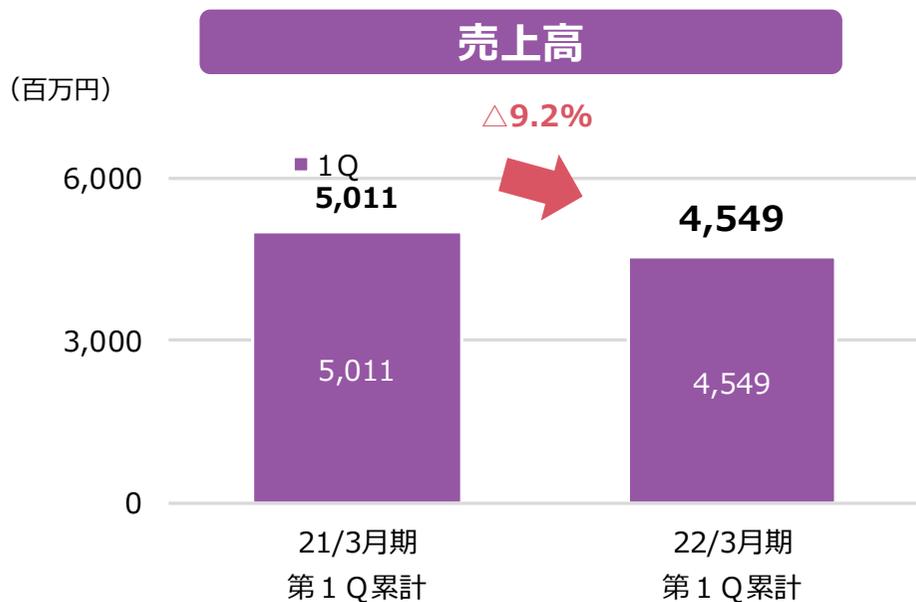


合成潤滑油

大幅に
伸長



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



売上高：総じて大きく落ち込む

- IT・電子材料用途の国内は大きく落ち込む
- 難燃剤の海外は大幅に伸長

営業利益：減益

- IT・電子材料用途の売上高が大きく落ち込む

電子材料用途

大きく
落ち込む



プラスチック用難燃剤

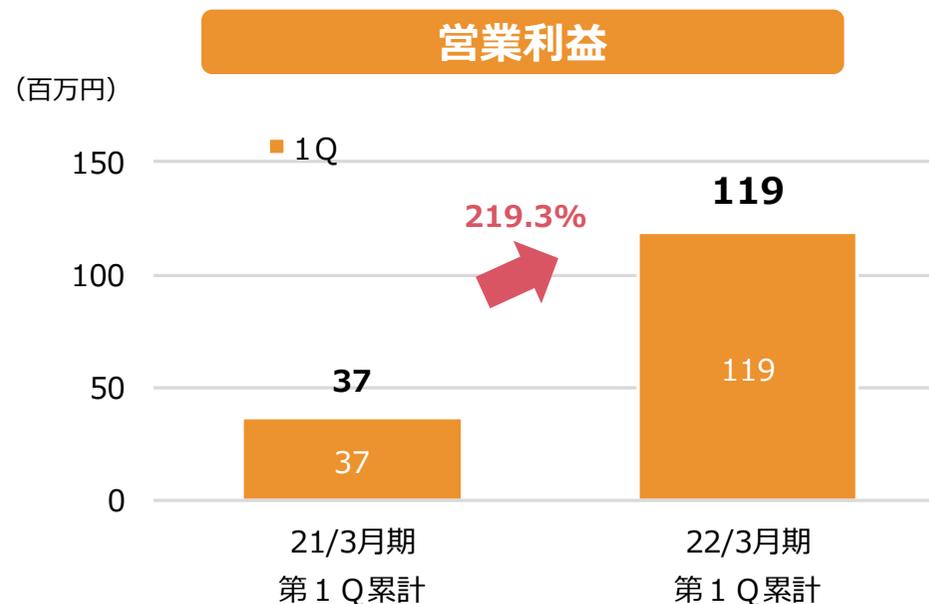
大幅に
伸長



連結 セグメント業績 電子デバイス材料



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



売上高：総じて大幅に伸長

- ディ스플레이用途のイオン液体は堅調に推移
- 太陽電池用途の導電性ペーストは大幅に伸長

営業利益：増益

- 売上高の大幅な伸長

太陽電池用途

大幅に伸長



ディスプレイ用途

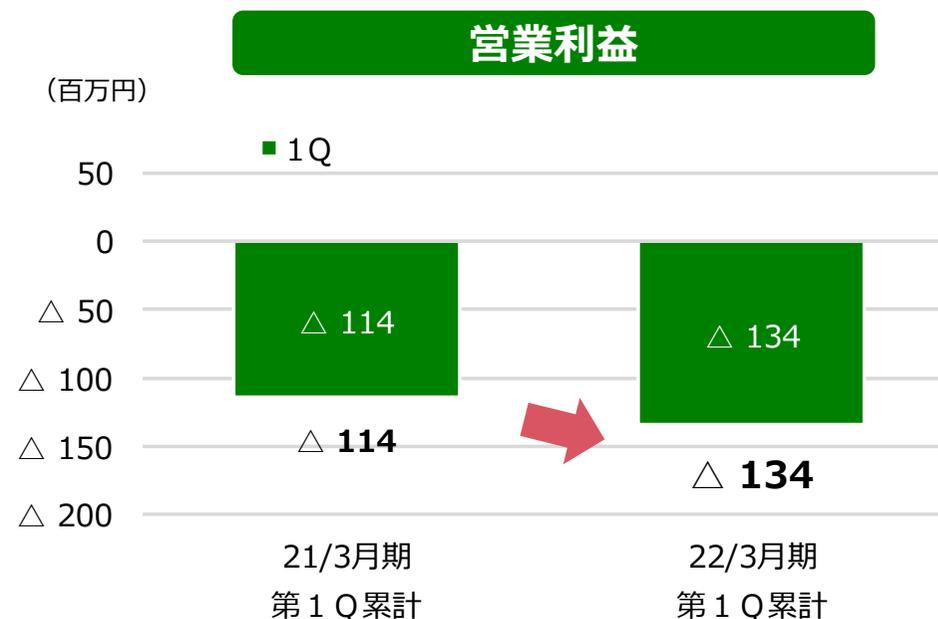
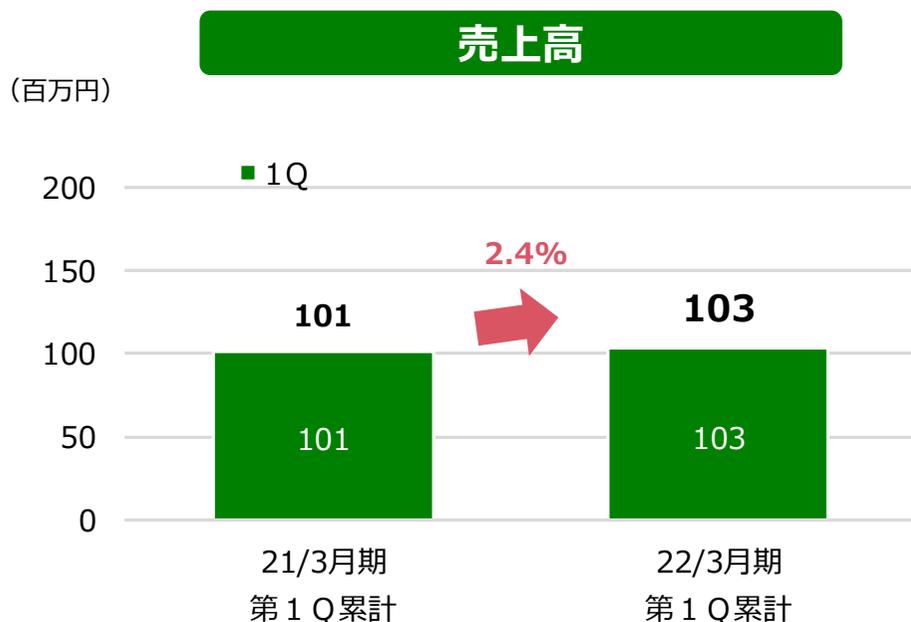
堅調に伸長



連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



売上高：総じて堅調に推移

- 健康食品等の受託事業は堅調に推移
- カイコ冬虫夏草から認知機能の改善を示唆する新規有用成分を発見

営業利益：営業損失

- 売上高は堅調に推移するも、営業経費がかさむ

冬虫夏草

利益は低迷



健康食品等の受託事業

堅調に推移



連結 連結比較貸借対照表の概要

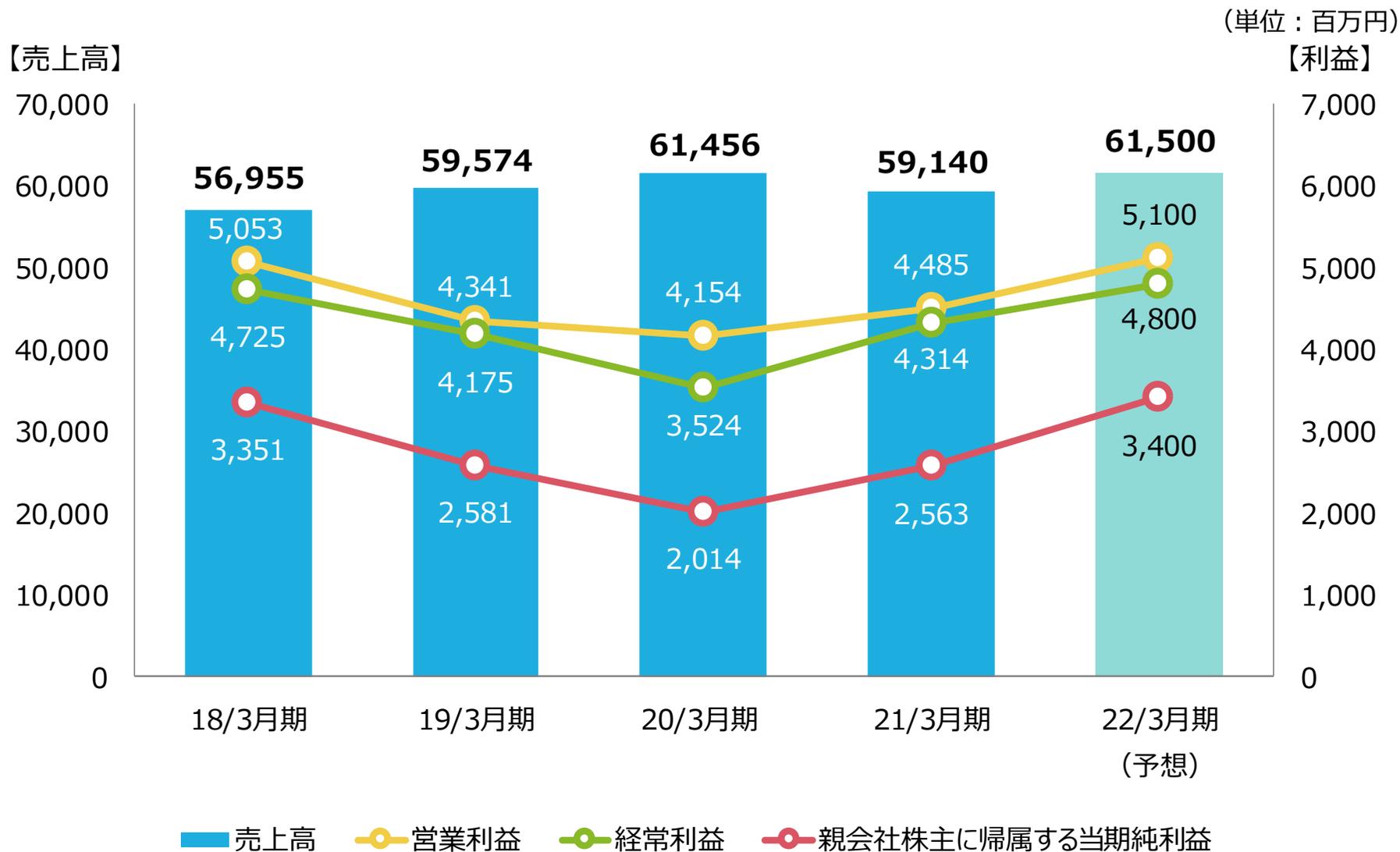


(単位：百万円)

	2021年 3月末	2021年 6月末	増減額		2021年 3月末	2021年 6月末	増減額
流動資産	43,997	42,221	△ 1,776	流動負債	22,071	21,375	△ 696
現預金	11,595	10,156	△ 1,439	仕入債務	9,827	9,486	△ 341
売上債権	16,866	15,934	△ 932	短期有利子負債	7,296	7,301	5
たな卸資産	13,248	13,670	422	その他	4,947	4,587	△ 360
その他	2,287	2,459	172	固定負債	25,556	24,010	△ 1,546
固定資産	41,035	40,892	△ 143	長期有利子負債	24,809	23,216	△ 1,593
有形固定資産	34,317	34,434	117	その他	747	793	46
無形固定資産	833	787	△ 46	負債合計	47,628	45,385	△ 2,243
投資・その他の資産	5,884	5,670	△ 214	純資産	37,404	37,728	324
合計	85,033	83,113	△ 1,920	合計	85,033	83,113	△ 1,920

2. 2022年3月期 業績見込みについて

連結 連結業績推移および予想



連結 セグメント別売上高予想



セグメント 単位：百万円	2021年3月期（実績）					2022年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期		下半期	通期	構成比 （%）	上半期		下半期 （予想）	通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
	1Q	2Q				1Q （実績）	2Q （予想）					
界面活性剤	4,178	4,110	9,014	17,303	28	4,395	4,404	9,200	18,000	29	697	4
アメニティ材料	1,735	1,562	3,784	7,081	12	1,914	1,885	4,000	7,800	13	719	10
ウレタン材料	1,668	1,624	4,191	7,484	13	1,815	1,984	4,200	8,000	13	516	7
機能材料	5,011	5,484	10,581	21,077	36	4,549	5,640	10,400	20,590	32	△ 487	△ 2
電子デバイス材料	937	1,508	3,313	5,758	10	1,635	1,564	3,400	6,600	11	842	15
ライフサイエンス	101	90	243	435	1	103	106	300	510	1	75	17
合計	13,632	14,380	31,127	59,140	100	14,413	15,586	31,500	61,500	100	2,360	4

連結 セグメント別営業利益予想



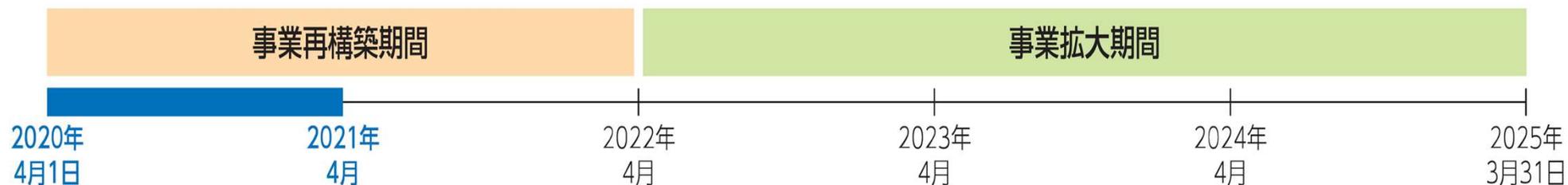
セグメント 単位：百万円	2021年3月期（実績）					2022年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期		下半期	通期	構成比 （%）	上半期		下半期 （予想）	通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
	1Q	2Q				1Q （実績）	2Q （予想）					
界面活性剤	263	384	1,104	1,752	39	609	540	1,400	2,550	50	798	46
アメニティ材料	16	△ 43	99	72	2	99	50	300	450	9	378	525
ウレタン材料	△ 92	△ 209	19	△ 282	△ 6	△ 25	△ 52	150	72	1	354	△ 126
機能材料	596	936	1,400	2,933	65	426	391	1,150	1,968	39	△ 965	△ 33
電子デバイス材料	37	115	277	430	10	119	110	350	580	11	150	35
ライフサイエンス	△ 114	△ 113	△ 193	△ 421	△ 9	△ 134	△ 135	△ 250	△ 520	△ 10	△ 99	24
合計	707	1,070	2,708	4,485	100	1,094	905	3,100	5,100	100	615	14

3. FELIZ 115の進捗状況について

FELIZ 115の進捗状況について①



FELIZ115の重点施策



- 1 貢献しない事業からの撤退。
- 2 霞工場など、先行投資した事業の早期刈り取り。
- 3 霞、ライフサイエンス事業において、パートナー企業との連携を加速し、早期の事業化を実現する。
- 4 顧客志向を重点にした組織体制へ改編し、全社での組織的営業活動へ転換する。
- 5 業績評価・報酬制度の改定を行い、貢献に応える体系に。
- 6 SDGs/ESG経営目標を設定。事業活動を通じ社会に貢献、企業価値向上を目指す。
- 7 社員幸福度経営を継続し、「健康経営銘柄」の維持活動や働きやすい環境整備を実施する。

FELIZ 115の進捗状況について②



1年目の進捗状況

	重点施策	成果・今後の目標
1	貢献しない事業からの撤退。	<ul style="list-style-type: none"> ● 採算是正、撤退を含めたポートフォリオの見直しを行い、事業体制を整えました。 ● アクチャル事業の利益構造の改革を行いました。
2	霞工場など、先行投資した事業の早期刈り取り。	<ul style="list-style-type: none"> ● 四日市工場霞地区第4プラントが稼働し、好調な需要に応じる増産が可能となりました。
3	霞、ライフサイエンス事業において、パートナー企業との連携を加速し、早期の事業化を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 社長直轄のライフサイエンス事業統括部を創設して2025年の100億円事業創設を目指します。
4	顧客志向を重点にした組織体制へ改編し、全社での組織的営業活動へ転換する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規事業の着手と充実のため、利益採算性に重点を置いた研究組織に一新しました。
5	業績評価・報酬制度の改定を行い、貢献に応える体系に。	<ul style="list-style-type: none"> ● やったことが正当に評価される企業風土へ変革し、従業員の幸せを考えた人事評価制度を目指します。
6	SDGs/ESG経営目標を設定。事業活動を通じ社会に貢献、企業価値向上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報IR室を社長直轄組織としIR活動を強化、ステークホルダーとの対話を強化します。 ● 業務支援グループを新設し、障がい者雇用を促進します。 ● モンゴル等出身の外国人材を積極的に雇用し、ダイバーシティの推進を図りました。
7	社員幸福度経営を継続し、「健康経営銘柄」の維持活動や働きやすい環境整備を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「健康経営銘柄2021」に2年連続選定されました。 ● 「健康経営優良法人2021～ホワイト500～」に4年連続認定されました。 ● 「スポーツエールカンパニー」に2年連続認定されました。 ● 「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」4年連続で最高ランクを取得しました。

業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR室 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp